

絶縁破壊試験器 平面配置型

YST-243-100RHO形
(YST-243-50RHO形)

使い易く、安全性を高めた絶縁破壊試験装置

本試験器は絶縁フィルム、絶縁板等の絶縁破壊電圧及び耐電圧試験を合理的に行うための試験装置です。最高発生電圧は交流で100KV又は50KVです。

試験装置は下記写真に示すように制御部、試験変圧器、試料台、恒温油槽等で構成されます。絶縁破壊試験では、危険な高電圧を発生させるため、使用法を誤ると致命的な事故に結びつく恐れがあります。

当社の試験器は、特に安全性に留意し、使用方法を誤っても致命的な事故に至らない設計をしましたので、安心してご使用いただけます。



絶縁破壊試験器の制御部本体

用途

- ・適合規格 : JIS-C2110-1, JIS-K6911, IEC-Publ.60243-1, ASTM-D149等に準拠
- ・用途 : 絶縁板等の絶縁破壊試験及び耐電圧試験

特長

- ・試験者自身が設計していますので、試験者の立場を考慮し、使い易く安全です。
- ・感電防止のための安全装置が設置されているので、安心してご使用いただけます。
(スイッチの切り忘れによる感電の心配はありません)
- ・万一、過電流検出器が故障し、絶縁破壊時に電源が遮断されず、試験変圧器が焼損したり、火災事故を起こす事を防ぐため、別の遮断装置を併用しています。
- ・絶縁破壊時のサージ電圧の保護対策がされているので、他の機器に悪影響を与えたり本試験器の寿命を短くする心配が少なくなります。
- ・試料部の電流値が観察できるので、試験が正しく実施されている事を確認できます。
- ・破壊検出電流の設定が自由にできるので、試験片に合った適切な条件での検出電流の設定ができます。
- ・破壊電圧値が自動的にプリントアウトされるので、試験データの個人差を生ずる事なく、さらに試験者の負担を軽減できます。
- ・試験電圧の昇圧速度が広範囲に設定でき、安定した試験ができます。
- ・耐電圧試験が自動化されています。

仕様及び機能

※制御装置本体は全自動型及びタッチパネル型に変更可能

項目	YST-243-ORHO ※○は最大発生電圧(100又は50)
最大発生電圧[KV]	AC50KV, 100KVより選択
試験温度範囲	室温、高温 (油槽、恒温槽はオプション)
電圧上昇方法	電動方式(自動昇圧) ※ステップ上昇試験は手動昇圧となります
電圧上昇速度[V/sec.]	設定可能
自動耐電圧試験	可能
絶縁破壊値の自動記録	可能 (プリントアウト)
印加電圧の表示	デジタル表示、プリントアウト
同上の表示方法	0.01, 0.38, 15.3KV等
絶縁破壊電流設定範囲[mA]	0~10, 20, 30mA(任意に設定可能)
同時測定点数	n=1
安全対策	有り (マット、エリアセンサ、ドアスイッチ 等)

オプション

- ・常温油槽、高温油槽及び絶縁油、恒温槽、恒温恒湿槽
- ・試験治具及び電極
- ・直流(DC)出力

ヤマヨ試験器有限会社 319-1414 茨城県日立市日高町1-27-19メルベージュ日高103

制作担当: 山本修 TEL:0294-42-1526, FAX:0294-42-1538

100KV絶縁破壊試験器配置の例

試験操作盤(W700×H1700×D600)



安全柵内配置の状態



安全マット

高圧発生器(100KV)



高温油槽 (RT~180°C)
高温絶縁油内での試験

常温油槽
RT

安全柵外からの状態

